

保管用

MITSUBISHI
三菱非常用照明器具【蓄電池内蔵形】(高調波ガイ ドライン適合品)

Easyeco エコ フォインベース 2灯埋込形

- 形名 YBH4002B PH (公共施設：K1-FRS15-322 使用ランプFHF32)
 PT (公共施設：K1-FRS15-322 使用ランプFHF32)
 PN (公共施設：K1-FRS15-322 使用ランプFHF32)
 <光束比50%>
 <PHシリーズ> > PHシリーズ

取扱説明書

○この製品は日本国内用です。日本国外では使用できません。またアフターサービスもできません。
 ○電源周波数50Hz、60Hz共用形です。日本全国どこでも使用できます。

施工者さまへ

○施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みください。正しく施工してください。
 ○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
 ▲警告、▲注意の表示で区分して説明しています。
 表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。
 絶対に行わない
 必ず指示に従い
 行ってください。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
禁止	電源線は器具の外郭に直接触れない。 (過熱して火災の原因)
厳守	施工は電気設備の技術基準・内務規程に従い行う。

注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または 火災、感電の原因
禁止	器具の外郭が天井内の造営材・ダクトに触れない。 (火災・感電の原因)
禁止	表示された電源電圧以外では使わない。特に定格電 圧の90%以下の電圧使用は、安定器の短寿命、故障 となります。(火災・感電の原因)
禁止	器具のノックアウトを外す場合はドライバー等によ り電線を傷つけない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)
禁止	狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して 使う場合は、放熱を妨げない。 (器具が過熱して火災の原因)
禁止	調光専用器具以外には調光させない。 (器具が過熱して火災の原因)

お願ひ

■周囲温度は5~35℃の範囲でご使用ください。
 ■直射日光や、空調機器等の排気口・温風吹出口付近の
 取付けはお避けください。(蓄電池の寿命が低下するこ
 とがあります)

平常時は2灯点灯します。非常点灯時は、1灯のみが下表の光束値で点灯します。

ランプ	ランプ定格光束 (lm)	光束比	非常点灯時光束 (lm)
FHF32EX	3200	55%	1760
FL40SSW/37	3100	50%	1550
FL40SS.EX/37	3560	50%	1780

お客さまへ

安全のために必ずお守りください

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なお客さまにお渡しください。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。 (火災・感電・落下の原因)
禁止	器具の取り付けや交換時に金属類を差し込まない。 (火災・感電の原因)
禁止	器具やランプを布や紙などで覆わない。 (可燃物をかぶせて使うと火災の原因)

注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または 火災・感電の原因
禁止	お客さま自身で電気工事はしない。 (火災・感電の原因)
禁止	ランプに塗料などを塗らない。 (ランプが過熱・破損して火災の原因)
禁止	器具の筐下や近くにストローブなどの熱器具を置か ない。 (過熱して火災の原因)
厳守	節電その他の理由でランプを取り外して間引き点灯 しない。

点検
 ■6ヶ月〜1年に1回、機能(非常点灯持続時間と切替動作)の点検を行う。【建築基準法施行規則第6条】

ランプ交換	適合ランプ FHF32 FL40SS(EX)/37 光束値の違うランプに交換する場合、照度範囲がかわります。 (1)ランプを90°回転させ、ソケットからはずす。 (2)ランプを90°回 転させ、ランプを確 実に装着する。 ○やわらかい布にぬるま湯または水をつけてよく絞ってふきとってください。
清掃	○やわらかい布にぬるま湯または水をつけてよく絞ってふきとってください。

蓄電池の交換	警告 電源スイッチを切ってから行う 蓄電池の交換は必ず当社指定の純正部品を使用してください。
警告	この製品には、ニカド電池を使用しております。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニカド電池の交換及びご使用済み製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し回収にご協力ください。詳細は弊社カタログをご覧ください。

器具の取扱	器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正しく動作しない場合があります。 放送設備などの音声信号や映像信号は、雑音のため、電源線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。
--------------	---

保証について
 ■保証期間は商品お買上げ日より1年間です。ただし、強光器具内蔵の安定器は3年間です。ランプ、グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。詳細は弊社カタログをご参照ください。

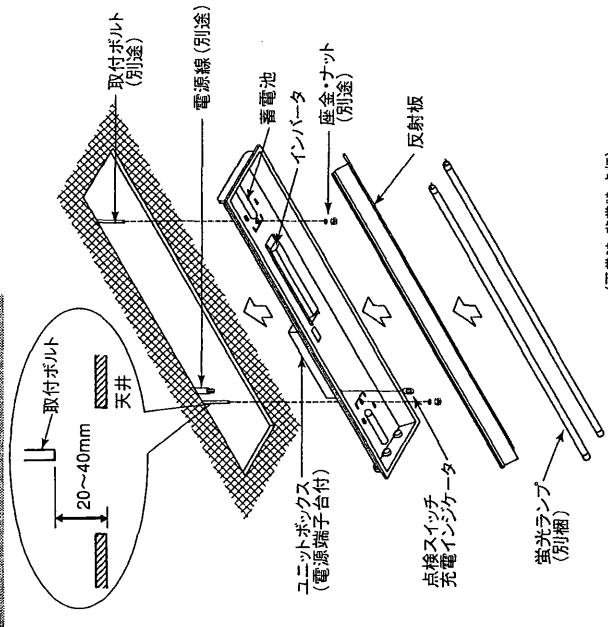
異常時の処置	警告 煙が出たり、異音が出たり、破損した場合はすぐに電源スイッチを切る。 (火災・感電の原因)
---------------	--

この説明書は
 再印刷を
 使用して
 います。

三菱電機株式会社
 〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40
 ☎(0467) 41-2728 (営業企画課)
 三菱電機照明株式会社 ☎(0467) 41-2773 (品質保証部サービス課)

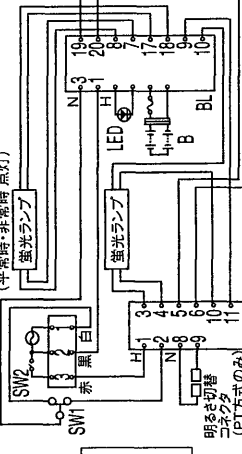
連絡先

各部分のなまえと取付けかた 警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う (不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因)



接続図

- 記号・名称
- B : 蓄電池
 - BL : 非常灯ユニット
 - INV : インバータ
 - LED : 充電インジケータ
 - SW1 : 点検スイッチ
 - SW2 : 消灯スイッチ

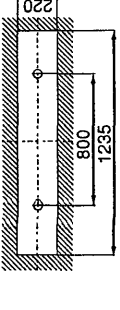


1 取付前の確認

器具質量の10倍以上(1ヶ所あたり)に耐えるよう、器具取付部の強度を確保する。

2 天井に埋込穴をあける

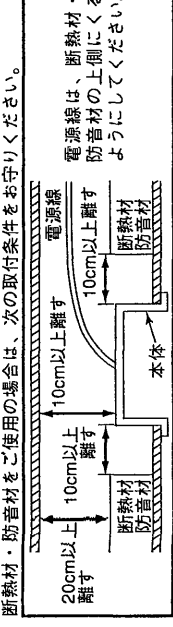
埋込穴、取付ボルトを図のように用いる。(単位 mm)



警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける (落下の原因)

断熱材施工不可

警告
断熱施工天井に取付けない (火災の原因)



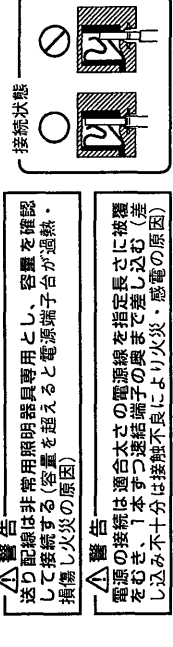
3 器具本体をボルトに取付ける

- (1) 使用する電源穴に付属のコードプッシュをはめ込む。
- (2) 電源線・アース線を器具本体のプッシュ付電源穴から引き込んでおく。
- (3) 本体を取付ボルトに取付け、ゆるみ止め施工を確実に行う。
(ゆるみ止め：ダブルナット・歯付座金・ばね座金など) ナットの締付トルクは0.7~1N・mです。

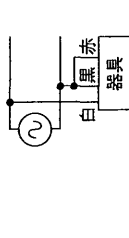


4 電源線を電源端子台に接続する

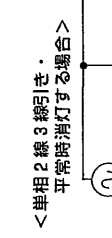
- (1) 電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。
 - (2) アース線を差し込み穴に確実に差し込む。
- <D種(第3種)接地工事が必要ですが、>
- 電源端子台の容量は20Aです
 - 適合電線：φ1.6mm単線 φ2.0mm単線
 - 電源線は専用回路にする。
- 警告**
送り配線は非常用照明器具専用とし、容量を確認して接続する (容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)
- 警告**
電源の接続は適合太さの電源線を指定長さにて被覆をむき、1本ずつ遠隔端子の奥まで差し込む (差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因)



<単相2線3線引き・平常時消灯しない場合>



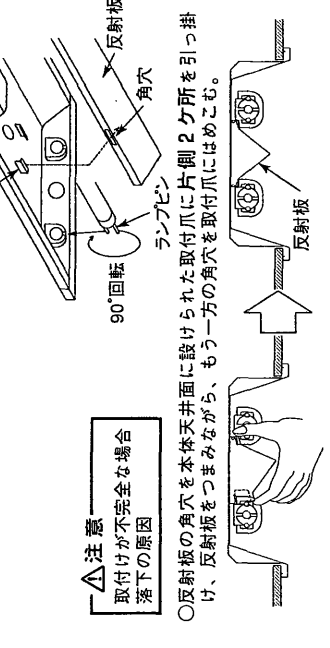
警告
分電盤と電源端子台の間には消灯スイッチを設けない



<単相2線3線引き・平常時消灯する場合>

電源端子台のわたり線は必ず。

5 反射板を取付ける



6 ランプを確実に取付ける

ランプピンをソケットに差し込み、90°回転させ、ランプを確実に装着する。
※「5.反射板を取付ける」参照

注意
取付けが不完全な場合落下の原因

7 連続取付けの場合

<天井切り込み寸法> (1260mm×N-25mm)×220mm Nは連結台数を示す。

8 点灯を確認する

- (1) 非常点灯しない場合
 - ・蓄電池と非常灯ユニットは溶断していませんか。
 - ・蓄電池のヒューズは溶断してありませんか。
 - ・充電インジケータ(緑色の表示ランプ)が点灯しない場合、電源は通電されていますか。
 - ・蓄電池と非常灯ユニットのヒューズは溶断していませんか。
- (2) 充電インジケータ(赤色の表示ランプ)が点灯しない場合
 - ・蓄電池と非常灯ユニットのヒューズは溶断していませんか。
 - ・蓄電池、非常灯ユニットのヒューズは溶断していませんか。

- 通電後、蓄電池のコネクタを接続してください。通電しないで蓄電池のコネクタを接続したまま放置すると、蓄電池が過放電します。
- 使用開始まで時間が経つ場合は、消灯するまで放電させた後、蓄電池のコネクタを外してください。
- 電源線接続の遠隔端子を取り外すときは、幅6mmのマイナストライバーを、はずし穴にまっすぐに差し込んでください。

